

シヨンセンターの会計士講座を受講、選抜生になったことが励みになりました。

生田キャンパスでの授業を終えた後、講座に通うため神田を往復する毎日。常に復習を心がけ「答練」の成績で悪かったところを見直し、苦手を克服していきました。2回目の挑戦で目標の「現役合格」は正直ホッとしていますが、4年間、サークル活動やアルバイトの経験がまったくなかったのは、ちょっぴり心残りです。

合格後、監査法人に就職が決まり現在研修の日々。今後は専門の知識に加え、人間として幅のある信頼される会計士を目指します。

自分流をくずさずに

公認会計士合格 鷹合 正駿さん

「現役で合格する」ことを目標に会計士講座に入り、3年次から本格的に取り組みました。効率的に学習することを心がけ、スケジュール帳に試験の日程などを入れ、そこにそのときの気持ちをイメージして書き込むという工夫をしたことで、自分流をくずさずに余裕をもって試験に臨めたことが結果につながったと思っています。

特別な学習法があったわけではありませんが、専門学校の「答練」では常に上位30パーセント以内にいることを目指し、時々、先生に学習進捗を確認してもらうことで入学時の目標を達成することが出来ました。

平成18年度司法試験・公認会計士試験合格者

◇司法試験

歌門 彩さん(平9法、山田治男ゼミ、東京都立川高)

◇公認会計士試験

新井聖一さん(商3、小島崇弘ゼミ、群馬県高崎商業高)

新村弥加さん(商4、上田和勇ゼミ、静岡県浜松商業高)

鷹合正駿さん(商4、首藤昭信ゼミ、石川県鹿西高)

猪瀬裕美さん(平18経営、櫻井通晴ゼミ、茨城県水海道第一高)

石倉 瞬さん(平17経営、奥村経世ゼミ、埼玉県狭山ヶ丘高)

西原エリ子さん(平16経済、神奈川県海老名高)

渡辺正隆さん(平16法、松岡啓祐ゼミ、徳本穰ゼミ、埼玉県志木高)

山田祐平さん(平14商、岡部光宏ゼミ、神奈川県横浜商科大学高)

篠原啓悟さん(平14商、鳥羽至英ゼミ、神奈川県瀬谷高)

磯尾信幸さん(平14商、奥村輝夫ゼミ、東京都早稲田高)

経営池本・高柳両ゼミ生

食品メーカーと「冬味納豆」を共同開発—地域密着型インターンシップの成果

キャリアデザインセンターが、06年春から川崎市と連携して実施している地域課題解決に取り組むことを狙いとした「地域密着型インターンシップ」で、経営学部の池本正純教授と高柳美香助教授のゼミ生が地元食品メーカー(株)カジノヤの冬季限定商品の開発に取り組んできたが(「**ニュース専修**」2006年8月号既報)、このほど新商品「冬味納豆」が完成した。



▲記者説明会を終え、笑顔の池本ゼミ生たち(前列右から2人目は池本教授)

12月1日からの販売に先駆け11月29日、生田キャンパスで記者説明会が行われ、発売に至る経緯と学生、企業双方からのインターンシップの成果などが話された。

「ピリ辛ねぎ味噌たれ」

学生たちは市場調査アンケート(学生200人)を実施し、試食を重ねて「ピリ辛ねぎ味噌たれ」を提案した。冬を感じさせるラッピングイメージは高柳ゼミ生のアイデアによるもの。



▲パッケージには「専修大学共同開発」の文字が

「当社で味噌味のたれは初めて。業界の常識にとらわれない発想が素晴らしく、学生たちの熱い思いが開発の後押しをしてくれ、満足いく商品が出来上がりました。その情熱を伝えるべく、自信を持って営業しています」と同社森本亨営業課長からの評価も高い。

冬季限定「冬味納豆」は、来年2月28日までの販売となり、海外向けにも販売される予定。

「たまフォーラム」でも発表

池本ゼミの学生たちは、11月18日、川崎市の多摩市民館で行われた、「たまフォーラムオープンカレッジ」(座長=平尾光司経済学部教授)の「たまフォーラム発地域系ビジネスおこし」でもインターンシップの成果を発表した。

⇒関連記事

- [インターンシップ成果の記者説明会—地元食品メーカーと新商品を共同開発 \[ニュース2006/11/29\]](#)
- [経営学部2ゼミ「納豆」新商品開発の提案 \[「ニュース専修」2006年8月号\]](#)

⇒関連情報

- [\(株\)カジノヤかじのや納豆](#)